

芸術科「漢字の書」 シラバス	単位数	2単位	学年・学級	第1学年芸術教養コース 書道選択者
-------------------	-----	-----	-------	----------------------

## 1 学習の到達目標等

学習到達目標	<p>1 漢字・仮名の表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てる。</p> <p>2 それと同時に書を楽しむ態度を通して感性を豊かにし、様々な場面に対応する書写能力を高める。</p> <p>3 1と2の学習を通して自己を主体的に表現し、個性的・創造的な表現の能力と書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を伸ばしていく。</p>
使用教科書・副教材等	書道 I 改訂版 (教育出版) ビデオ教材 書道道具一式

## 2 学習計画及び評価方法等

### (1) 学習計画等

学期	月	配当	単 元	教 材	学 習 内 容
1 学 期	4	1	オリエンテーション	用具・用筆について	一年間の授業内容説明
	5	15	木簡の学習	木簡・竹管・帛書	強く鋭い線質で、たくましい表現法を学ぶ 美しく気品あふれる流麗な表現法を学ぶ
	6	8	楷書・行書の学習	始平公像造記 蘭亭序 争坐位稿	鋭い線質、流れるような線質ができたか確認 し気脈や粘りを加え臨書する
	7	4	一学期のまとめ	一学期に学習した 古典	1学期のまとめとして学習した古典を半切 に仕上げる 半切作品のまとめ方や落款の入れ方等学ぶ
2 学 期	8	8	隸書の学習	隸書の古典	基本的な隸書の特徴を理解し、波磔などの用 筆法を意識して臨書する
	9				
	10	8	篆書の学習 (篆刻を含む)	石鼓文 趙之謙 呉昌碩等	基本的な篆書の特徴を学び、自用印を作成す る
	11	8	行書の学習	行書の古典	1学期の行書の学習を踏まえ、さらに行書の 多様な表現法を学ぶ
	12	4	二学期のまとめ	二学期に学習した 古典を半切に書く	2学期のまとめとして学習した古典を半切 に仕上げる 大字仮名作品のまとめ方や落款の入れ方等 について学ぶ
3 学 期	1	6	行書(草書)の学習	明清を中心に	より多彩な作品表現ができるよういろい ろな作品を鑑賞させ半切に書く
	2	10	一年間のまとめ		これまで学んできたことを振り返り芸術発 表会に向けて創作作品を作る。
	3				

	<p><b>【課題・提出物等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎時間の学習内容は「学習記録」に記録する。</li> <li>2 提出前の途中経過（試書・中間まとめ・添削を受けたもの等）を記録としてファイルする。</li> <li>3 単元ごとに「学習記録」とファイルをもとに「学習のまとめ」を行い自己評価する。</li> <li>4 課題に応じて作品を提出する。創作作品は数時間をかけて完成させます。</li> </ol>
	<p><b>【評価方法】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 提出作品, 「学習記録」の記録状況, 「学習のまとめ」の内容, 用具用材の扱いを含めた学習活動への参加の態度などをもとに総合的に評価します。</li> <li>2 学期全体の評価は提出作品で50%, 「学習記録」と「学習のまとめ」で15%, 期末考査20%, 学習活動への参加の態度で15%の配分で行います。</li> <li>3 提出作品については漢字の書・仮名の書において、それぞれの特徴を捉え、意図した表現に近づくことが出来たかが評価の基準となります。</li> </ol>

<p>確かな学力を身に付けるためのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道の学習においてはまずよく見ることが大切です。自らの感性に基づき対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。</li> <li>・得られた感想は何に由来するものか, 用具・用材, 構成, また作者や時代背景といった様々な要素について考え分析する姿勢が大切です。</li> <li>・技法の習得は主として古典の臨書によりますが, ただ枚数を重ねるのではなく1枚1枚, 1字1字について自分の解決すべき課題や問題点を見極めながら練習することが大切です。そのために「学習記録」はていねいに書きましょう。</li> <li>・創作においては「今自分は何を表現したいか」を第一に考え, 詩文や用具などを積極的に選択していきましょう。</li> </ul>
<p>授業を受けるに当たって守ってほしい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業はチャイムと同時に始めますので, 用具を準備し着席を完了させて下さい。</li> <li>・用具は個人の所有の物, 学校の備品ともに大切に使いましょう。特に, 筆と硯はきれいに洗いましょう。</li> <li>・作品ファイルはきちんと整理しておきましょう。</li> </ul>